

スタートアップ創出プログラム IJIE-GAPファンドプログラム 2025 ステップ1

公募説明会資料



Inland Japan Innovation Ecosystem (IJIE)

22機関
増加

プラットフォームの概要

- 大学等の特色ある研究成果・技術シーズに基づく起業を自治体、金融機関等との連携により推進し、**スタートアップ創出・成長加速エコシステム**を実現するプラットフォームを共創する。
- IJIE事務局は信州大学に設置。
- 大学等と、地域のステークホルダーの連携による課題解決力と地域貢献の実績を軸に、ベンチャーキャピタル、先進地域との連携を通じて、**社会を変える地方発のスタートアップを創出**する。
- 地域に独自のイノベーションエコシステムを構築することにより、スタートアップと地域産業との融合・連携により新たな付加価値と雇用を創出し、**本地域の活性化と経済発展に貢献**する。

甲信・北関東地域に
スタートアップ・エコシステムを形成

事業期間

2024年2月～2028年3月

本地域に圧倒的に不足している
VCやアクセラレーター機能
を重点的に強化

[VC] 15機関
[アクセラレーター] 5機関

実施体制

参画機関 70機関 (2025年3月)

主幹機関 信州大学

SU創出共同機関

山梨大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、
自治医科大学、埼玉医科大学、信州TLO

協力機関

(大学) 公立諏訪東京理科大学、長野大学、長野工業高等専門学校、前橋工科大学、埼玉県立大学、日本工業大学、東洋大学、東京海洋大学

(自治体) 長野県、長野市、松本市、山梨県、栃木県、宇都宮市、群馬県、前橋市、桐生市、埼玉県、さいたま市

(金融機関) 八十二銀行、山梨中央銀行、足利銀行、群馬銀行、東和銀行、埼玉りそな銀行、日本政策金融公庫、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行、ゆうちょ銀行信越エリア本部

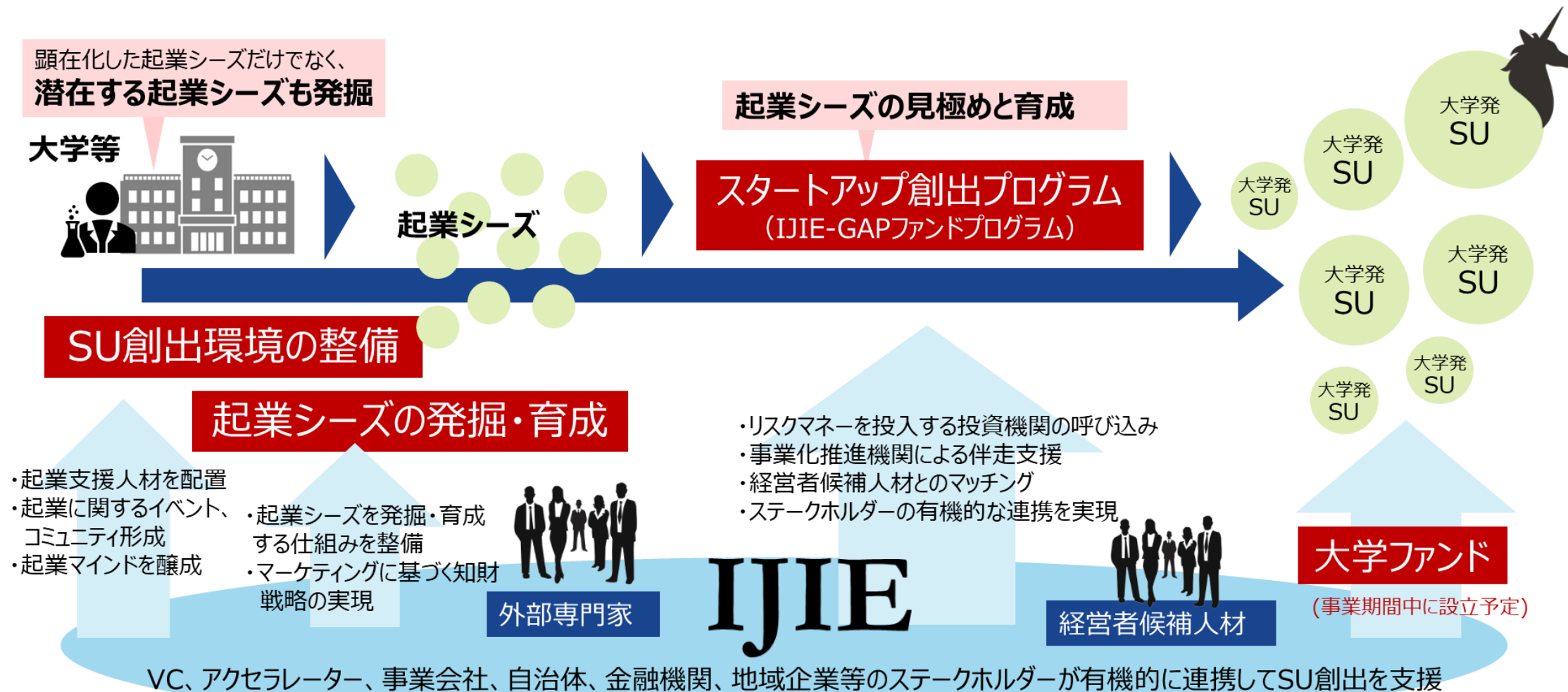
(民間企業) みらい創造インベストメンツ、ジャフコグループ、ゼロワンブースターキャピタル、NES、JICベンチャー・グローブ・インベストメンツ、ケイエスピー、フューチャーベンチャーキャピタル、みやこキャピタル、Beyond Next Ventures、東京大学協創プラットフォーム開発、ソニーベンチャーズ、八十二インベストメント、大和企業投資、DCIパートナーズ、ビジョンインキュベイト、ゼロワンブースター、毎日みらい創造ラボ、富士フイルムホールディングス、産学連携研究所、日本総合研究所、MPO、MVP、産業革新研究所、長野県産業振興機構、さいたま市産業創造財団、さいたま起業家協議会、信州メディカル産業振興会、Kawasaki-NEDO Innovation Center、ターナー法律事務所、アマテラス、クニエ、メディパルホールディングス

連携拠点都市PF

Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)
Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)

IJIEの活動概要

各大学の起業支援人材、信州TLO、外部専門家による支援体制を構築し、知的財産の創出支援、起業シーズの発掘・育成を重点的に強化。スタートアップ創出プログラムにより起業シーズの仮説検証サイクルを効率的に回すとともに、事業化推進機関、経営者候補人材等と連携し、終了後の速やかな大学発スタートアップ(SU)の起業を促進。



IJIE-GAPファンドプログラム2025の支援内容

有望案件を厳選
して起業準備

SU創出の可能性
を前広に検証

ステップ1

新設

ステップ2

新設

	スタートアップ枠 「プレ」	インパクトビジネス枠	スタートアップ枠 「スタンダード,+α」	インパクトビジネス枠
対象	大学等の技術シーズをもとに、起業を検討する研究者等を対象に、ビジネスプランの構築に必要な試作開発、市場調査、知的財産戦略の策定等を支援する。	大学等の研究成果をもとに、地域・社会課題の解決と持続可能な成長を両立し、地域・社会に好循環をもたらすスタートアップの設立を目指し、起業を検討する研究者等を対象に、ビジネスプランの構築に必要な試作開発、市場調査、知的財産戦略の策定等を支援する。	大学等の技術シーズをもとに、起業準備を行う研究者等を対象に、起業シーズのビジネスとしての可能性の検証に必要な試作開発、実証試験、データ取得等を支援する。	大学等の研究成果をもとに、地域・社会課題の解決と持続可能な成長を両立し、地域・社会に好循環をもたらすスタートアップの設立を目指し、起業準備を行う研究者等を対象に、起業シーズのビジネスとしての可能性の検証に必要な試作開発、実証試験、データ取得等を支援する。
応募資格	SU創出共同機関(7機関)に所属する教職員・大学院生			
	—		事業化推進機関(VC等)の参画が必須	
支援期間	1年以内	1年以内	2年または3年以内	2年以内
支援金額※ (総額)	500万円	300万円	3,000万円 (2年) 6,000万円 (3年)	2,000万円
採択予定 件数	年10～12件	年5～6件	年4～6件	年2～3件

↑ 今回の募集

※支援金額(直接経費)に対して30%の間接経費が配分されます。

ステップの定義

	ステップ1（応用研究）	ステップ2（概念実証・スタートアップ組成）
対象	基礎研究の成果について、ビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げることを目指します。	前半ではビジネスとしての可能性の評価と実証（PoC）を行い、起業にあたってクリアすべき課題の解決を目指します（概念実証）。 後半ではこれら取組に加え、大学等発SUの組成とVCが投資判断できるレベルに向けて、PoCを継続して実施します（スタートアップ組成）。
提案時に達成すべきマイルストンのイメージ	※申請時の達成イメージ 【事業開発】 ・用途仮説が立てられている ・ステップ2以降のマイルストーンも想定できている 【技術開発】 ・用途仮説に基づく性能検証を行うための検証項目が特定されている 【体制整備】 ・大学のSU支援部門や知財部門、起業支援人材等と連携している	※ステップ1終了時の目標のイメージ 【事業開発】 ・勝負するマーケット規模の予測が立てられている ・将来マーケットにおける顧客イメージと商品/サービスの競争優位性がロジカルにつながっている 【技術開発】 ・用途仮説に基づき必要な性能の検証が行われている ・原則、基本特許がある ・事業の中核となる特許群の出願計画がある（＝競争優位の確保） 【体制整備】 ・事業開発を推進する責任者が存在する ・経営者候補が存在するまたは研究開発期間中に保する計画がある

公募タイプ

スタートアップ枠（既存）

- 大学等の技術シーズをもとにした社会的に大きなインパクトをもたらすビジネスにより**イノベーションを創出し、短期間で急成長することによって大きな経済的リターンを得るスタートアップ**の設立を目指す。

（ステップ1）事業終了時点で、ビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げることを目指す。

（ステップ2）事業終了時点で、出資や融資による投資判断できるレベルを目指す。

インパクトビジネス枠（新規）

- 大学等の研究成果をもとにした社会課題を解決するソリューションにより、**地域・社会全体に好循環**をもたらし、**着実な収益を早期に得ながら持続可能な成長をするスタートアップ**の創出を目指す。

（ステップ1）事業終了時点で、ビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げることを目指す。

（ステップ2）事業終了時点で、出資や融資による投資判断できるレベルを目指す。

公募タイプ

利益

スタートアップ枠

Jカーブで成長し、EXIT
(IPOやM&A) を目指す
ようなスタートアップの創出
が期待できる起業シーズの
育成

インパクトビジネス枠

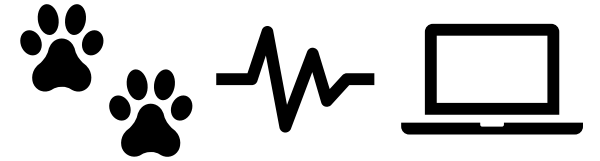
着実な収益を早期に得なが
ら持続可能な成長と地域・
社会課題の解決との両立を
目指すようなスタートアップ
の創出が期待できる起業
シーズの育成

スモールビジネス

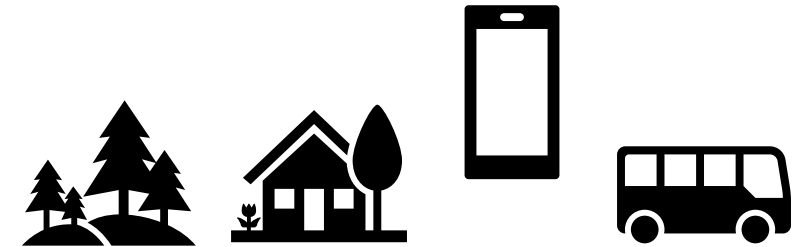
時間

インパクトビジネス枠の事例

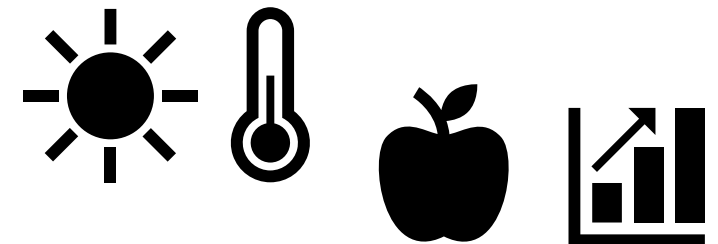
- ・LPWAを利用した獣害対策サービスの検証



- ・地域資源に基づくサービスデザインの開発と実証



- ・農産物栽培支援システムの活用による品質向上と地域ブランドの価値向上



IJIE-GAPファンドプログラム2025 「ステップ1」の概要

ステップ1の支援対象

- 研究開発課題の核となる技術シーズを活用したスタートアップの設立や事業化により、大学等の研究成果の社会還元を目指すため、研究代表者がビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品製作、データ（実験結果、計算結果）等の整備を進める研究開発課題。
- ステップ1では、大学の基礎研究と事業化の間のGAPを埋める研究開発費を支給することにより、**基礎研究の成果についてビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げる**ことを目指します。

※基礎研究を目的とした事業化を目指さない研究は支援対象となりません。

※既に起業しているベンチャーを支援するプログラムではないため、起業前の研究者が対象となります。

※基礎研究費ではなく、起業に向けた検証資金である旨ご留意下さい。

支援対象機関

以下の7大学の研究者、大学院生

- 信州大学、山梨大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、自治医科大学
埼玉医科大学

※協力機関からの申請は不可



IJIE-GAPファンドプログラム2025 「ステップ1」の概要

支援金額・採択件数（予定）

スタートアップ枠（プレ）：最大500万円・12件以内

インパクトビジネス枠：最大300万円・6件以内

※直接経費に対して30%の間接経費を配分

※審査の結果、減額となる場合あり

※金額や採択数については、申請件数、審査結果に応じて変更の可能性あり

支援期間（予定）

スタートアップ枠（プレ）：2025年7月頃～2026年3月末（約9カ月）

インパクトビジネス枠：2025年7月頃～2026年3月末（約9カ月）

募集期間

2025年4月7日（月）～2025年5月12日（月）17時締め切り

研究開発課題の研究代表者の要件

研究開発課題の研究代表者は、以下の i)～ v)の要件を全て満たすこととする。

- i) 応募時点、及び研究実施期間において、I J I Eに主幹機関およびS U創出共同機関として参画する各大学に所属する研究者、または大学院生であり、かつ研究開発課題の核となるシーズの発明者である、もしくは発明に関わった者であること。

※応募にあたっては当該研究成果に関する特許を取得していることが望ましい。

※特許出願中や特許を出願予定であるものや必ずしも特許出願を行わない研究成果（ソフトウェア等）に基づく応募も可能。

※AI技術や、人文・社会科学の研究成果等を活用し、社会課題の解決を目指す案件等も申請可能

- ii) シーズを利用したSUの設立、事業化等により、大学等の研究成果の社会還元を目指していること。
- iii) シーズについて、本プログラムを通じて創出されるSUの実施に関してそのシーズの発明者、シーズが帰属する機関等（特許出願人等）の同意が得られていること。
- iv) PFが目指すスタートアップ・エコシステムの形成について、その趣旨を理解の上、貢献する意志を有すること。
- v) PFにて準備する研究者向けオンライン講習を受講すること。

※大学院生が研究代表者となる場合は追加条件あり（募集要項をご確認ください。）

研究代表者の重複応募・実施の制限

- 同一の研究代表者は以下のうち2つ以上のファンドを同時に実施することはできません。
- 最終年度を除き、1つのファンドを実施しながらもう1つのファンドに申請することもできません。
- 申請段階での制限はありませんが、複数のファンドに申請した場合はいずれかのファンドの採択が決定した段階で、採択が決定したファンドを実施して申請中のファンドを辞退するか、申請中のファンドの審査結果を待つために採択が決定したファンドを辞退するか選択していただきます。
- **同一の研究代表者が、本公募プログラムへ複数課題を申請することはできません。**
- **スタートアップ枠とインパクトビジネス枠を同時に申請することはできません。**

事業名		重複可否
大学発新産業創出基金事業	スタートアップ・エコシステム共創内の研究開発課題（本プログラム）	—
	ディープテック・スタートアップ国際展開	×
	起業実証支援	×
	可能性検証（【起業挑戦】の提案）	×
	可能性検証（【企業等連携】の提案）	△
研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム （START）	起業実証支援	×
	ビジネスモデル検証支援	×
	SBIR フェーズ1 支援（起業による技術シーズの事業化を目指す場合）	×
	SBIR フェーズ1 支援（技術移転による技術シーズの事業化を目指す場合）	△

△：シーズが異なれば実施可、×：同時に実施不可、—：**同時に申請不可**

資金用途

研究開発費（直接経費）は、以下の使途に支出することができます。

費目	対象となる経費
a. 物品費	試作品・技術シーズブラッシュアップのために必要な設備費用・研究用設備・備品、ソフトウェア(既製品)、書籍購入費、研究用試薬・材料・消耗品等の購入費用
b. 旅費	研究担当者及び研究計画書記載の研究参加者等に係る旅費、招へい者に係る旅費 ※経営者候補人材に係る旅費も支出可能
c. 人件費・謝金	本研究のために雇用する研究者、経営者候補人材等の人件費・謝金等 ※大学等において運営費交付金や私学助成金等により、国から人件費を措置されている者の人件費は支出できません。
d. その他	a, b, c の他、研究開発を実施するための経費 ※研究成果発表費用、ソフトウェアライセンス使用料、外注費、会議費等 ※外注費としては、研究開発要素を含まず、役務仕様が予め決まっており、作業のみを外注する請負契約についてのみ直接経費での計上が認められています。

※スタートアップの創出を目的としない純粋な基礎研究用途での研究開発費の使用はできません。

※既存および立ち上げ時のベンチャー企業等のため（登記費用や事務所経費等）には使用することはできません。

応募方法

①申請書の作成

I J I E ホームページより申請様式等入手し、作成してください。

【申請様式】

様式1：研究開発課題の概要（15ページ以内）

様式2：課題予算書

面接審査発表資料（様式任意）

②申請書の提出

応募フォームに必要項目をご登録の上、申請書をご提出ください。

※郵送、持参、FAXによる書類の提出は受け付けません。

③申請書の提出期限

令和7年5月12日（月）17時締切

選考方法

①要件審査

応募のあった申請書等について、応募要件への適合性を確認する。

②書面審査

外部専門家及び内部審査員により、研究開発計画、事業計画等の申請内容の妥当性について、選考の観点をもとに書面審査を行う。

③面接審査

書面審査を通過した研究課題について、面接審査を実施する。面接審査には、原則として研究代表者が出席することとし、研究開発計画、事業計画の内容について研究代表者から説明した上で、審査員からの質問に回答することとし、説明内容、質問への回答を踏まえ、選考の観点をもとに総合的な審査を行う。

選考方法

＜面接審査実施概要＞

- ・発表時間7分、質疑応答10分
- ・オンラインにて実施
- ・発表資料は「面接審査発表資料（様式任意）」を参考に作成してください。

＜面接審査予定日＞

スタートアップ枠

（アグリカルチャー、環境・エネルギー、ナノテクノロジー・材料、情報通信・データ、その他）

①6月10日（火） 9:00～17:00

（ライフサイエンス）

②6月11日（水） 9:00～17:00

インパクトビジネス枠

（アグリカルチャー、環境・エネルギー、ナノテクノロジー・材料、情報通信・データ、その他）

①6月中旬 9:00～17:00

（ライフサイエンス）

②6月中旬 9:00～17:00

選考の観点（ステップ1）

	ステップ1 スタートアップ枠「プレ」	ステップ1 インパクトビジネス枠
事業開発	➤ 想定する顧客や顧客ニーズが示されているか。 ➤ どのような製品やサービスを提供するのかが検討されているか。 ➤ ビジネスモデルの策定及び検証に向けて、マイルストンの設定がされているか。	➤ 想定する顧客や顧客ニーズが示されているか。 ➤ どのような製品やサービスを提供するのかが検討されているか。 ➤ ビジネスモデルの策定及び検証に向けて、マイルストンの設定がされているか。
社会課題解決		➤ 解決を目指す社会課題等と、社会に提供するソリューションが明確に示されているか。 ➤ 社会課題等の解決の効果を定量的または定性的に示することができるか。 ➤ 社会課題等の解決により、自社の成長のみならず、社会全体に好循環をもたらすものか。 ➤ 1つの地域の課題解決をモデルケースとする場合、同規模の地域への波及が期待できるか。
技術開発	➤ 顧客ニーズを想定し、必要な性能等が検討されているか。 ➤ 性能検証を行うために必要な検証項目、マイルストンの設定がされているか。 ➤ 研究成果の社会実装に向けて知財戦略は検討されているか。	➤ 顧客ニーズを想定し、必要な性能等が検討されているか。 ➤ 性能検証を行うために必要な検証項目、マイルストンの設定がされているか。 ➤ 研究成果の社会実装に向けて知財戦略は検討されているか。
体制整備	➤ 大学やPFが用意する外部専門家や事業化推進機関から助言を得ながら進める計画となっているか。 ➤ 大学のSU支援部門や知財部門、起業支援人材等との連携により進める計画となっているか。	➤ 大学やPFが用意する外部専門家や事業化推進機関等から助言を得ながら進める計画となっているか。 ➤ 大学のSU支援部門や知財部門、起業支援人材等との連携により進める計画となっているか。

申請書作成のポイント（スタートアップ枠）

5. 構想 (1) 概要：

＜各項目共通事項＞

※査読者にポイントが伝わりやすいよう、図表グラフ、具体的なデータ等を積極的に用いてください。

※本事業では、社会課題等のニーズや市場規模・動向等を踏まえたビジネスを見定めた上で、知財戦略と研究開発を一体的に行っていくことが求められます。

※ 本事業により開発する製品・サービスにより、どのように顧客の課題を解決するのか、課題を解決することでどのような価値が創出される事業を実施する計画であるか、200字程度で簡潔に記載してください。

申請書作成のポイント（スタートアップ枠）

（２）顧客候補：

- ※価値を提供する顧客の想定を業種、職種、地域等も含め、可能な限り具体的に記載してください。
- ※その際、ビジネスを始める際の最初の顧客は誰なのか、を明らかにして記載してください。
- ※どのような顧客候補の、どのような課題（ペイン）を、どのように解決しようとしているのか、について記載してください。

（３）顧客の課題：

- ※本事業により開発する製品・サービスにより、顧客の課題を解決することでどのような価値が創出されるのかを記載してください。
- ※ 可能な限り調査や顧客インタビュー等のエビデンスに基づき検証の上、記載してください。

申請書作成のポイント（スタートアップ枠）

（４）製品・サービスの独自価値：

※シーズを核にどのような製品・サービスを構想しているか、またその特徴や魅力（新しい付加価値）について顧客視点も踏まえ詳細を記載してください。

※独自の価値の記載に当たっては、他社の商品・サービス構想との性能、コスト等を含めた比較を行い、メリット、デメリットについて記載してください。

申請書作成のポイント（スタートアップ枠）

（８）研究開発課題終了時の達成目標：

（Ａ）事業開発計画および研究開発計画

【課題終了時の達成目標】

- 総合的な達成目標
- 事業開発に関する達成目標
- 研究開発に関する達成目標
- 課題の推進体制に関する達成目標

【マイルストーン（中間時点での達成目標）と実施内容】

< 2025年度 >

○事業開発

マイルストーン：

実施内容：

○研究開発

マイルストーン：

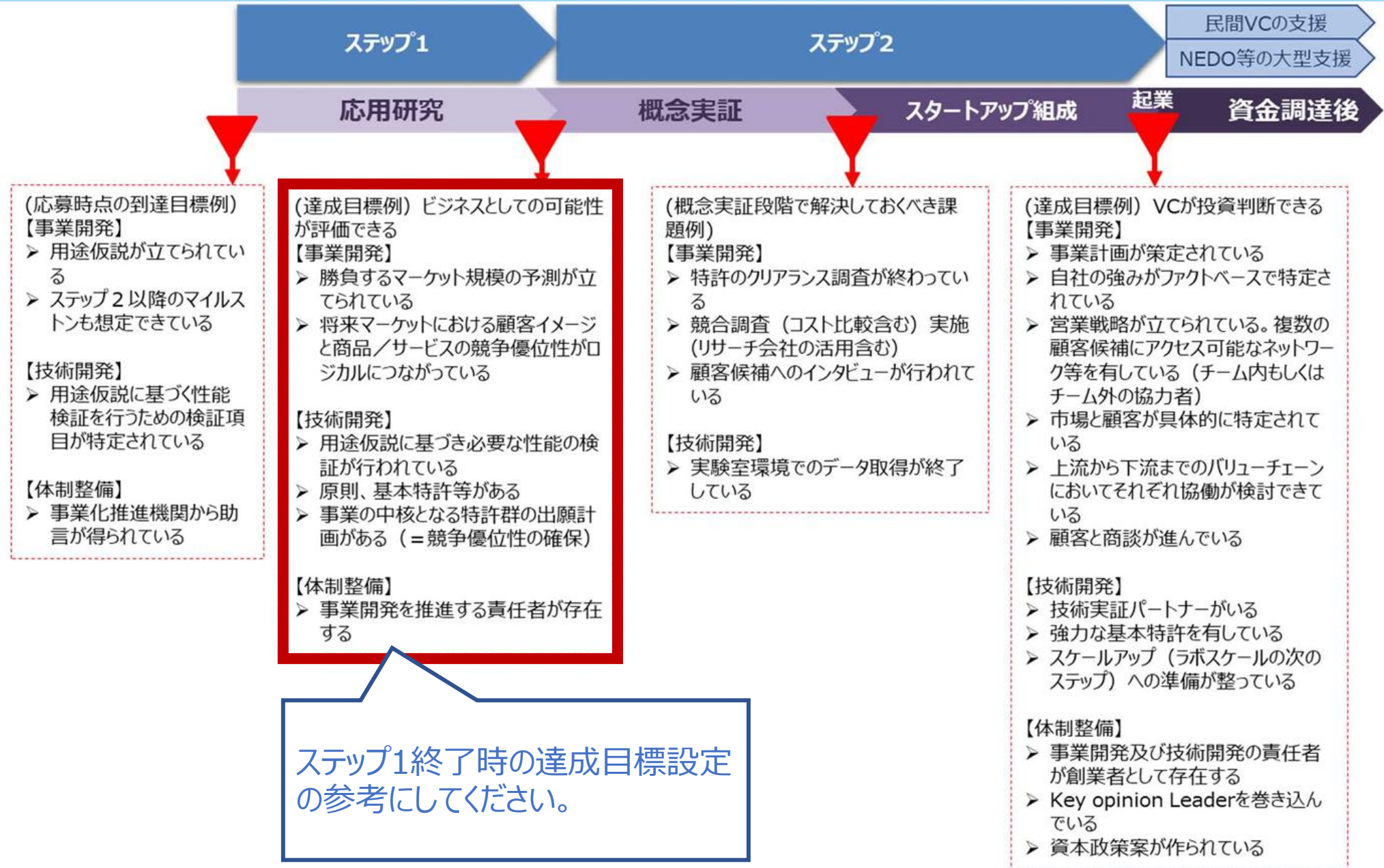
実施内容：

※達成目標の設定にあたってはスタートアップ・エコシステム共創プログラムの公募要領「第1章 1.1.5 (1)」の記載や図（※次ページ）を参照の上、設定してください。

※マイルストーンは、2025年11月時点での達成目標を設定してください。

※実施内容は、事業期間中（2025年7月～2026年3月末）に実施する内容を記載してください。

申請書作成のポイント（共通）



申請書作成のポイント（スタートアップ枠）

（９）圧倒的な優位性：

※本事業により創出するスタートアップが持つ、先行企業にない製品・サービスの圧倒的優位性、社会を革新するようなインパクトについて記載してください。

申請書作成のポイント（スタートアップ枠）

6. スタートアップ設立に向けた計画

- （１）スタートアップ設立予定時期：
- （２）設立するスタートアップのEXITの方針：

※EXITの方針について記載して下さい。

※EXITを目指して、どのような資金調達を行って（融資、自己財源、ベンチャーキャピタルからの出資、公的資金等）で企業運営していくのか、方針を記載してください。

（記載例）

- ・国内マーケットを強く意識し、金融機関から○億円の融資を受けて運営し、○年後にIPOを目指す。
- ・ベンチャーキャピタルから○億円の出資を受けて、グローバル展開を見据え、○年後にIPOを目指す。
- ・金融機関から○億円の融資を受けて運営し、○年後に事業会社へのM&Aを目指す。

申請書作成のポイント（スタートアップ枠）

（３）ステップ1終了後のスタートアップ設立に向けた活動の方針

（ステップ2への申請を希望する場合）

- ※ VC等の事業化推進機関候補との接触の状況を記載してください。
- ※経営者候補人材、その他事業化に必要な人材の確保策について、保有するネットワーク等も含めて、可能な範囲で記載してください。
- ※ステップ2におけるマイルストーン、実施内容を可能な範囲で記載してください。

（スタートアップの設立を予定している場合）

- ※経営者候補人材、その他事業化に必要な人材の確保策について、保有するネットワーク等も含めて、可能な範囲で記載してください。
- ※設立するスタートアップの経営に研究代表者がどう関与していくのかを記載してください。
- ※設立するスタートアップのリスクマネー調達計画として、提案時点での資本政策（粗い内容で可）等を記載してください。

申請書作成のポイント（インパクトビジネス枠）

5. 構想 (1) 概要：

＜各項目共通事項＞

※査読者にポイントが伝わりやすいよう、図表グラフ、具体的なデータ等を積極的に用いてください。

※本事業では、社会課題等のニーズや市場規模・動向等を踏まえたビジネスを見定めた上で、知財戦略と研究開発を一体的に行っていくことが求められます。

※ 本事業により開発する製品・サービスにより、どのように顧客の課題を解決するのか、課題を解決することでどのような価値が創出される事業を実施する計画であるか、200字程度で簡潔に記載してください。

申請書作成のポイント（インパクトビジネス枠）

（２）顧客候補：

- ※価値を提供する顧客の想定を業種、職種、地域等も含め、可能な限り具体的に記載してください。
- ※その際、ビジネスを始める際の最初の顧客は誰なのか、を明らかにして記載してください。
- ※どのような顧客候補の、どのような課題（ペイン）を、どのように解決しようとしているのか、について記載してください。

（３）顧客の課題：

- ※本事業により開発する製品・サービスにより、顧客の課題を解決することでどのような価値が創出されるのかを記載してください。
- ※ 可能な限り調査や顧客インタビュー等のエビデンスに基づき検証の上、記載してください。

申請書作成のポイント（インパクトビジネス枠）

（４）製品・サービスの独自価値：

※シーズを核にどのような製品・サービスを構想しているか、またその特徴や魅力（新しい付加価値）について顧客視点も踏まえ詳細を記載してください。

※独自の価値の記載に当たっては、他社の商品・サービス構想との性能、コスト等を含めた比較を行い、メリット、デメリットについて記載してください。

申請書作成のポイント（インパクトビジネス枠）

（５） 解決を目指す社会課題：

※解決を目指す課題について具体的に記載してください。

※解決を目指す社会課題がSDGsの17目標に含まれる場合には、SDGsの目標と社会課題の関係を具体的に記載してください。

※ 可能な限り調査や顧客インタビュー等のエビデンスに基づき検証の上、記載してください。

申請書作成のポイント（インパクトビジネス枠）

（９）研究開発課題終了時の達成目標：

（Ａ）事業開発計画および研究開発計画

【課題終了時の達成目標】

- 総合的な達成目標
- 事業開発に関する達成目標
- 研究開発に関する達成目標
- 課題の推進体制に関する達成目標

【マイルストーン（中間時点での達成目標）と実施内容】

< 2025年度 >

○事業開発

マイルストーン：

実施内容：

○研究開発

マイルストーン：

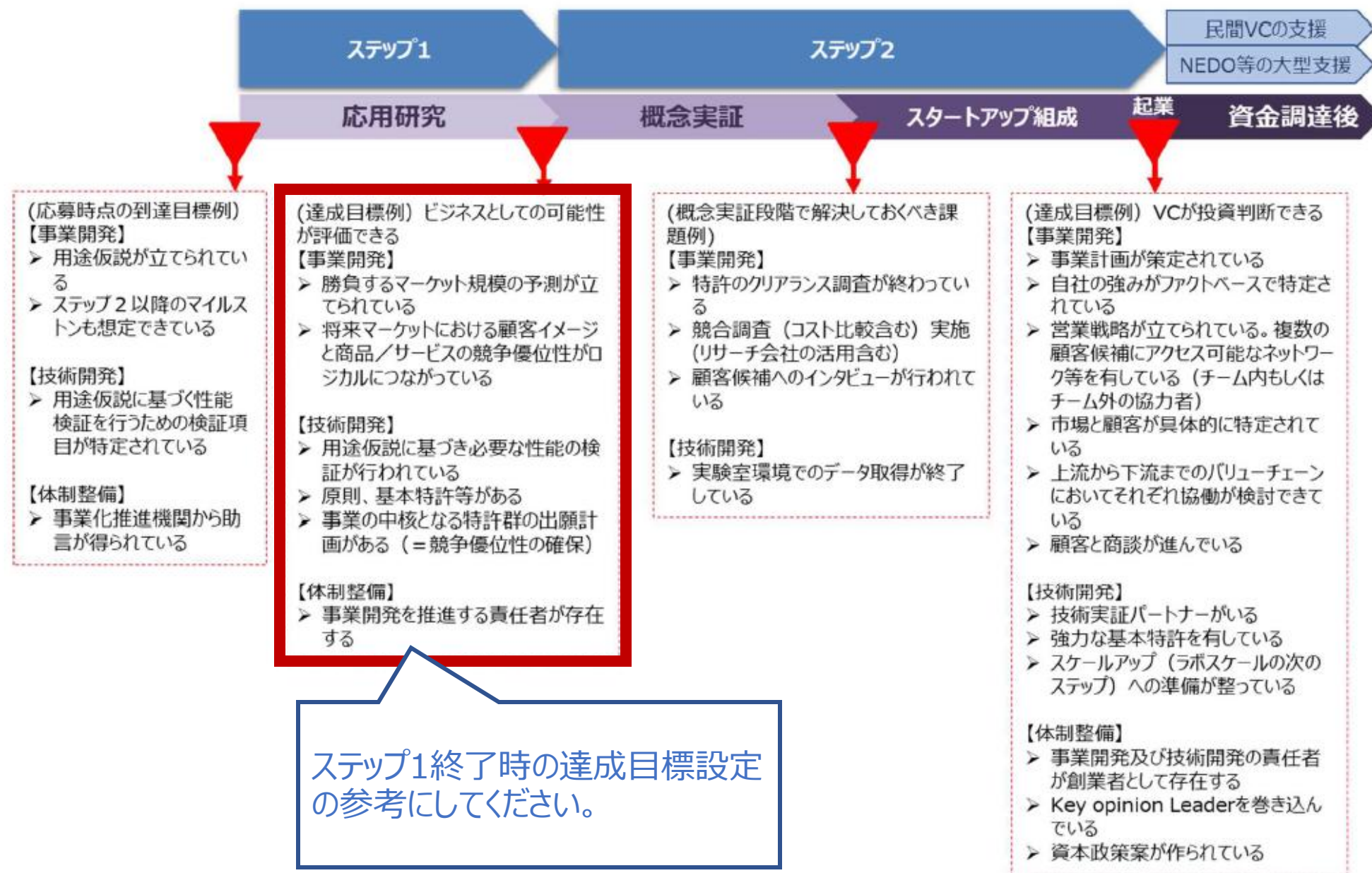
実施内容：

※達成目標の設定にあたってはスタートアップ・エコシステム共創プログラムの公募要領「第1章 1.1.5 (1)」の記載や図（※次ページ）を参照の上、設定してください。

※マイルストーンは、2025年11月時点での達成目標を設定してください。

※実施内容は、事業期間中（2025年7月～2026年3月末）に実施する内容を記載してください。

申請書作成のポイント（共通）



申請書作成のポイント（インパクトビジネス枠）

（10）社会課題解決による効果：

※社会課題解決や新たな社会ビジョンの実現に向けて、どのようなソリューションを提供し、そのような事業を実施する計画か、具体的に記載してください。

※社会課題の解決によって社会全体へ与えるインパクトを定量的または定性的に記載してください。

※本事業の実施により実現する社会課題の解決方法について、他地域への波及が期待できる等のロールモデル性があれば、具体的に記載してください。

申請書作成のポイント（インパクトビジネス枠）

6. スタートアップ設立に向けた計画

- （１）スタートアップ設立予定時期：
- （２）スタートアップ設立後の事業計画：

※製品・サービスの提供方法・スケジュール等を記載してください。

※設立するスタートアップの運営体制（人員等）について記載してください。

※スタートアップ設立に向けて、どのように資金調達（融資、自己財源、ベンチャーキャピタルからの出資、公的資金等）を行って、企業運営していくのか、方針を記載してください。

（記載例）

※地域の社会課題の解決に特化した企業として、○千万円の自己資金により企業活動の継続を目指す。

※国内マーケットを強く意識し、金融機関から○千万円の融資を受けて運営し、○年後にIPOを目指す。

申請書作成のポイント（インパクトビジネス枠）

（３）ステップ1終了後のスタートアップ設立に向けた活動の方針

（ステップ2への申請を希望する場合）

- ※事業化推進機関候補との接触の状況を記載してください。
- ※経営者候補人材、その他事業化に必要な人材の確保策について、保有するネットワーク等も含めて、可能な範囲で記載してください。
- ※ステップ2におけるマイルストーン、実施内容を可能な範囲で記載してください。

（スタートアップの設立を予定している場合）

- ※経営者候補人材、その他事業化に必要な人材の確保策について、保有するネットワーク等も含めて、可能な範囲で記載してください。
- ※設立するスタートアップの経営に研究代表者がどう関与していくのかを記載してください。
- ※設立するスタートアップのリスクマネー調達計画として、提案時点での資本政策（粗い内容で可）等を記載してください。

申請書作成のポイント（共通）

(様式2: 課題予算案)		
課題予算案		
	単位: 千円	
機関名:	担当者名:	
予算費目	1年度目 予算希望額	使 途
①物品費	500	表面電位測定装置1台・作製材料の電気特性評価
	200	試薬(エタノール、ポリイミド、PPS等)・合成用材料
	100	研究資材(無塵服・手袋等)・クリーンブース実験のため
	500	●●製造機械装置試作機・顧客候補の評価用
②旅費	120	東京⇄松本、8回、研究代表者、事業化推進機関打合せ
	60	近郊、2千円×30回、知財戦略・アライアンス候補等
	50	〇〇教授・招聘旅費、XXの技術動向情報収集
	80	〇〇学会参加・2泊3日・研究代表者(XX材料の動向調査)
③人件費・謝金	1,800	研究員1名(〇〇、〇〇)×6ヶ月相当、XX実験
	200	〇〇実験リサーチアシスタント1名×2千円×100h
	50	〇〇教授・XX材料開発動向講演謝金
④その他	300	(外注費)〇〇技術の知財調査・〇〇株式会社
	300	(外注費)XXの成分分析・〇〇株式会社、競合技術調査
	200	(外注費)XX駆動部の図面作成・〇〇株式会社
	100	通信運搬費(測定試薬輸送、顧客候補評価)
	100	XX展示会参加費・1名(研究代表者)
	120	XX解析ソフトライセンス契約(6ヶ月分)
	120	学内大型電算機使用量(50h相当)
	100	その他(消費税相当額など)
小計(①+②+③+④)	5,000	
⑤間接経費(直接経費の30%)	1,500	
総計(①+②+③+④+⑤)	6,500	

※「使途」欄は調達する物品・役務等の名称だけでなく、その調達が事業化に向けて必要な理由が分かるように記載ください。

※事業化を目的としない基礎研究のための経費は認められません。

※外注費としては、研究開発要素を含まず、役務仕様が予め決まっており、作業のみを外注する請負契約については直接経費での計上が認められています。
また外注費を計上する際は使途欄に『（外注費）』と記載してください。

※再委託はできません。（※不適切な記載例：遺伝子編集技術の知財調査に関する再委託）

IJIE-GAPファンド「ステップ1」 公募スケジュール

公募期間	4月7日（月）～5月12日（月） 17時
個別相談	4月上旬～4月下旬（IJIEホームページにて申込）
書面審査	5月中旬～6月上旬
書面審査結果通知	6月上旬
面接審査	6月中旬
J S T 承認手続き	6月中旬～6月下旬
採択結果通知	6月下旬～7月上旬
契約変更手続き	7月上旬～
研究開発開始	7月中旬以降

採択後の実施内容

①研究者向けオンライン講習（R7年8月以降～）

採択された研究開発課題を対象に、スタートアップ設立に向けて必要となるスキルを習得するためのオンライン講習の実施を予定（GTIEとの連携）

②CxO候補人材マッチング（R7年8月以降～）

採択された研究開発課題に対して、CxO候補人材とのマッチングイベントの実施を予定（※CxO候補人材が不在のチームが対象）

③事業化推進機関候補マッチング（R7年8月以降～）

採択された研究開発課題に対して、R8年度ステップ2への申請に向けた事業化推進機関候補とのマッチングイベントの実施を予定

④ HP・シーズ集への掲載（R7年7月以降～）

IJIEのHP、IJIEで作成するシーズ集に研究開発課題の概要を掲載予定

採択後の実施内容

⑤全体会議（R7年11月頃）

IJIEの全参画機関による連絡会議。本GAPファンドプログラムの採択課題について、全ての研究開発課題より発表を予定

⑥DemoDay（R8年3月頃）

本GAPファンドプログラムの成果について全ての研究開発課題より発表を予定

⑦終了評価（R8年4月以降）

申請時に設定した達成目標（マイルストーン）を達成状況について、支援期間終了後に事後評価を実施予定

⑧事後評価（R9年4月以降）

事業開発の状況をモニタリングするため、審査委員会による事後評価の実施を予定しています。

問い合わせ先

● 信州大学

学術研究・産学官連携推進機構
スタートアップ・事業化推進室（IJIE事務局）
TEL：0263-37-2032
E-mail：ijie_info@shinshu-u.ac.jp

● 山梨大学

学術研究部社会連携課
TEL：055-220-8093
E-mail：kenkyo@yamanashi.ac.jp

● 宇都宮大学

社会共創・情報部 社会共創・研究課
TEL：028-649-5168
E-mail：renkei2@a.utsunomiya-u.ac.jp

● 群馬大学

研究推進部産学連携推進課
TEL：027-220-7542
E-mail：a-sangaku@ml.gunma-u.ac.jp

● 埼玉大学

研究・連携推進部
産学官連携・ダイバーシティ推進課
TEL：048-858-9137
E-mail：sangaku@gr.saitama-u.ac.jp

● 自治医科大学

研究推進課
TEL：0285-58-7852
E-mail：shien@jichi.ac.jp

● 埼玉医科大学

リサーチアドミニストレーションセンター 産学連携担当
TEL：049-276-2073
E-mail：smu_ip@saitama-med.ac.jp

ご清聴ありがとうございました。

皆様からのご申請をお待ちしております。